

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	インプロビゼーション2	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース（キーボード）	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	プリント配布				
担当教員情報					
担当教員	平下政志		実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン/アレンジャー/コンポーザー	
学習目的					
音楽の各ジャンル;ロック、ファンク、ライトファンク、ブルース（メジャー・マイナー）、ボッサ、スウィングなど多様なスタイルに応じた即興演奏を身に付ける。テーマ演奏の為の譜面の確認　コード進行の確認　様々な記号を含め、譜面を理解し曲を覚え、アンサンブルができるように指導する。					
到達目標					
1年次は学校で用意した課題曲を演奏できる様にすること。Sweet (Rock)　I Just Wanna Be With You (minor Blues)　Do It Now (Major Blues)Leave Me Alone (Funk)　Affordable (Light Funk)　Don't Look Down (Rock)　Take Your Time (Bossa)　Take Your Time (Bossa)Stop It (Swing)などの曲を課題曲とする。					
教育方法等					
授業概要	各自ピアノ（キーボード）を一台ずつ用意して講師と共に演奏して学ぶ。 4リズムアンサンブルの授業の準備内容を主に勉強するが、ソロピアノでのインプロビゼーションも並行して学ぶ。				
注意点	筆記用具と五線譜ノートを持参し、授業内の実践での内容を五線紙にメモしていく。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備　考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表表 （口頭・実技）	60%	演奏を聴いての評価		
	平常点	40%	出席率、および授業への参加姿勢		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	後期の授業説明		2年次でつかうモーダルフレーズの解説		
2回	調の軸		トータルセンター（主音）の意識を持つ		
3回	16ビート1		16ビート　7コードとミクソリディアンスケール		
4回	16ビート2		16ビート　7コードとミクソリディアンスケール課題曲を用いて実践		
5回	16ビート3		16ビート　トライトーン		
6回	16ビート4		16ビート　アボイドノートの概念		
7回	16ビート5		16ビート　ミクソリディアンを使ったアドリブフレーズ		
8回	16ビート6		16ビート　ミクソリディアンを使ったアドリブフレーズ課題曲を用いて実践		
9回	16ビート7		16ビートのコンビング		
10回	ハーフタイムシャッフル1		ハーフタイムシャッフル　マイナーコードとドリアンスケール		
11回	ハーフタイムシャッフル2		ハーフタイムシャッフル　スケールの特性音		
12回	ハーフタイムシャッフル3		ハーフタイムシャッフル　ドリアンを使ったドリアンフレーズ		
13回	ハーフタイムシャッフル4		ハーフタイムシャッフル　ドリアンを使ったドリアンフレーズ課題曲を用いて実践		
14回	ハーフタイムシャッフル5		ハーフタイムシャッフルコンビング		
15回	総復習		課題曲の発表会		